長浦小学校学校だより

自ら学ぶ子

笑顔で“できる”

令和6年12月17日 第12号
長浦小学校 校長 丸山朋子

冬の朝・・・・。

「やっと寒くなりましたね。12月ですものね。」朝、布団から出て、1日をスタートさせるのも、いよいよ「気合い」が必要な今日この頃です。

先週13日の朝は、学校の周辺にも霜が降り、田んぼや畑も白く色づきました。

登校後、運動場の遊具周りを駆け回っていた低学年の子どもたちは、白く凍った水蒸気の塊たちを手で集めようとしていました。

朝の空気の冷たさ、吐く息の白、銀杏の葉の黄色・・・。朝が、子どもたちの五感を刺激してくれます。

さて、2024年も残り2週間です。

大人も子どもも、「今、ここ、このとき」を満喫したいところです。

12月4日（水） 人権集会

法務省が人権週間と定める1週間（12月4日～12月10日）、長浦小学校でも、各学年で、身近にあるいじめや差別について気付き・考える学習に取り組みました。

さらに、4日の昼の時間には、皆が一堂に会し、人権集会を行いました。活動の中心は、PA（＊プロジェクトアドベンチャー）。縦割り班で活動し、人権学習担当の先生がリードをしました。

体験したのは2つのゲーム。「言うこと一緒！やること一緒！」と「カテゴライズ」。

〇うまくできても、間違っても楽しいってこと。
〇わたしの好きなものと相手の好きなものが一緒のこともあれば、違うこともある。それでいいってこと。

このような体験が、個人の成長や人間関係づくりにつながっていくことを願います。

異学年子どもたちがあっという間に輪になり、さっと手を繋いで・・・。こんな様子を見ることができるのも長浦小の持ち味、ですね。

12月11日（水）5年生 餅つき

5年生「総合的な学習の時間」のメインテーマである「米づくり」。子どもたちは、この活動を様々な「もの・こと」に結び付けながら、学習計画を立て、学びを広げ、深めています。

11日、5年生は、収穫の喜びと感謝の思いをこめて餅つきをしました。

「あんこ餅はいらないよ」「その代わり、せんべいをつくろう」等など、随所に「…らしさ」の表れた内容。皆様のサポートを受け、願いが叶い、楽しくおいしい活動になったことでしょう。“もち米めちゃうまプロジェクト第1弾！”大成功ですね。

「杵と臼を使った餅つき」が、年末の風物詩であったのは、昔のこと・・・かもしれませんが、この素晴らしい伝統文化の灯は、受け継いでいきたいものです。皆様ありがとうございました。

12月16日（月）門松をつくっていただきました

「いきいき体験教室」の皆様が、よい新年を迎えることができるようにと、門松を作ってくださいました。

毎週2回の放課後子ども教室も皆様のおかげで、参加する子どもたちにとって様々な体験・学びの場となっています。

今年もお世話になりました。
来年もどうぞよろしくお願いします。